

報告第2号

令和6年度盛岡宿泊所運営状況等について

令和6年度盛岡宿泊所運営状況等について報告するものである。

令和7年2月7日

公立学校共済組合岩手支部

支部長 佐藤 一男

## 令和6年度盛岡宿泊所運営状況等について

収入について、宿泊は、盛岡市の観光客増加の影響が続いており、県内外からの家族連れやビジネス客の増加により、利用人数は前年を大きく上回るペースで推移していることから、売上は予算を達成する見込みである。

宿泊外について、会議は、一定の売上を確保出来ているものの、繁忙日に予約が集中するなど、新規利用者を伸ばすことが出来ず、予算を下回る見込みである。宴会は、12月終了時点でコロナ禍前の7割以下の回復に留まっており、前年比では増加しているものの、非常に厳しい状況が続いている。グリルは、通常ランチとランチバイキングが好調を維持しており、更に宿泊の飲食料も増加していることから、予算を上回る見込みである。

支出について、人件費は、最低賃金の改正に伴い、職員の給与改定を実施したことから、予算を上回る見込みである。営業費は、今後の経費削減を目的としたテーブルクロス購入や設備の安全面を向上を図るための防火シャッター更新工事の実施により、予算を上回る見込みである。材料費は収入の減少に伴い、費用も減少となるものの、食材高騰の影響により、原価管理は難しい状況である。

以上のことから、経常損益は当初予算を大きく下回る見込みであり、来年度も経営を取り巻く環境は厳しい状況が続く見込みではあるが、収益の拡大と保有資金の増加を図り、健全経営の実現に向けて、経営改善に取り組む所存である。

単位：千円

項目		決算見込 A	当初予算 B	増減	増減理由	
収入	宿泊	41,731	40,337	1,394	予約サイトによる集客増	
	施設 宿泊 外	会議	53,579	59,446	▲5,867	単年度物件の減少による減
		宴会	139,210	152,023	▲12,813	利用回復の遅れによる減
		婚礼				
		グリル	38,343	34,174	4,169	ランチ及びイベント利用者増
		その他	569	343	226	自動販売機手数料増
	計	273,432	286,323	▲12,891		
	商品売上	4,237	4,202	35	外注弁当の増	
	賃貸料・その他	7,565	7,082	483	特定求職者助成金の増	
	特別利益					
	追加費用負担金	1,088	1,200	▲112	昇給額の調整に伴う減	
保健経理より繰入	11,682	20,000	▲8,318	LED 工事の競争入札による減		
経常収益①	298,004	318,807	▲20,803			
支出	人件費	125,251	124,714	537	給与改定による増	
	材料費	65,732	67,241	▲1,509	収入減に伴う仕入減	
	営業費	98,385	97,460	925	テーブルクロス購入代等の増	
	償却費	20,138	21,664	▲1,526	減価償却による減	
	特別損失	100		100	固定資産除却損の発生	
	経常費用②	309,606	311,079	▲1,473		
経常損益 (①-②)	▲11,602	7,728	▲19,330			

※人件費に追加費用負担金を含む